

広島大学大学院博士課程リーダー育成プログラム
放射線災害復興を推進するフェニックスリーダー育成プログラム

平成31(2019)年10月入学

学 生 募 集 要 項

放射線災害医療コース推薦入試
「放射線災害から生命を護る医師枠」

平成 30(2018)年 10 月



広島大学

概 要

以下に挙げるアドミッション・ポリシーに合致し、放射線災害医療コースの目標に4年間の広島大学大学院博士課程リーダー育成プログラム「放射線災害復興を推進するフェニックスリーダー育成プログラム」の履修によって到達すると見込まれる人、特に災害時において、診療・治療の資格を持って活躍できる人の入学を求め、放射線災害医療コース推薦入試「放射線災害から生命を護る医師枠」を実施します。

○大学院博士課程リーダー育成プログラムのアドミッション・ポリシー

広島大学では、人類が解決を迫られている複雑な課題に挑戦し、世界の平和で持続的な発展に貢献するため、大学院改革の一環として、複数の研究科を横断する分野融合型の博士課程を学位プログラムとして新たに開設しました。従来の学問分野、研究領域の枠組みを超えて、新たな知を創造できる人材を育成し、グローバルリーダーとして社会に輩出していきます。

○放射線災害復興を推進するフェニックスリーダー育成プログラムのアドミッション・ポリシー

放射線による災害は全世界に影響を及ぼすグローバルな問題であり、それに対処し放射線災害復興を担うためには、学際力、国際力、マネジメント力を備えた人材が必要です。

本プログラムでは、医学、環境学、工学、理学、社会学、教育学、心理学などの基礎的知識を有し、放射線災害からの復興を、「放射線災害から生命を護る」、「放射能から環境を護る」、「放射能から社会と子どもを護る」観点から、横断的かつ統合的にマネジメントし、国際的に活躍できる分野横断・統合的グローバルリーダーの育成を目指しており、次のような学生を求めています。

- (1) 横断的知識と技術を身につけ、社会の発展に貢献したい人
- (2) 人の痛みがわかり、災害復興に貢献したいと強く願う人
- (3) リーダーとなって、地域・国際社会で活躍したい人
- (4) 意欲、行動力、責任力、人間力に優れた人

○放射線災害医療コースの目標 —放射線災害から生命を護る人材—

- ・ 原発作業員などへの急性放射線障害の病態把握と診断・治療ができる
- ・ 一般住民などへの低線量被ばくの影響評価ができる
- ・ 内部被ばく・外部被ばくの的確な線量評価ができる
- ・ 放射線高感受性である胎児・小児への適切な影響評価と診断・治療ができる
- ・ 放射線による発がんや遺伝的影響の機序とそのリスク評価ができる
- ・ 放射能汚染ストレス下における心理学的評価とメンタルケアができる

平成 31 年 10 月より本学大学院博士課程リーダー育成プログラム「放射線災害復興を推進するフェニックスリーダー育成プログラム」に推薦入学させる学生を次のとおり募集します。

1. 募集人員

放射線災害医療コース（4 年制） 若干名

※大学院医歯薬保健学研究科博士課程医歯薬学専攻（霞キャンパス）に入学します。

2. 出願資格

次の各号の全てに該当する者

- (1) 日本国の医師免許又は歯科医師免許を有する者で所定の臨床研修を受けた者
- (2) 医師法(昭和 23 年法律 201 号)又は歯科医師法(昭和 23 年法律 202 号)の第 3 条及び第 4 条の規定に該当しない者
- (3) 出願時に職を有する者で、入学後も引き続き在職する場合は、所属長等の承諾が得られる者

3. 出願手続

志願者は、必ず出願前に、「**8. プログラム担当者一覧表**」及び本プログラムホームページを参照し、主任指導を希望するプログラム担当者と、自らが希望する活動がプログラムに適しているか及び希望研究内容等について相談し、主任指導の了承を得てください。

出願書類等は、下記出願期間中に、持参、郵送もしくは電子メールに添付して提出してください。

なお、出願書類等に不備のある場合、及び出願期間内に入学検定料 30,000 円の支払いが完了していない場合は、受理しません。

(1) 出願期間：

平成 31(2019)年 1 月 10 日(木)から平成 31(2019)年 1 月 21 日(月)午後 5 時まで(必着)

持参、郵送の場合の受付時間は、午前 8 時 30 分から午後 5 時までです。

なお、郵送による場合は必ず書留郵便で、封筒表面に「プログラム願書（推薦入試）在中」と朱書してください。

(2) 出願書類等

	書類の名称	摘 要
ア	入学志願票	所定の様式を使用してください。
イ	医師又は歯科医師免許証の写し	
ウ	研究計画書	所定の様式を使用してください。
エ	推薦書	所定の様式を使用し、研修指導者、所属長等が作成の上、提出してください。
オ	小論文	所定の様式を使用し、用紙に記載されている小論文 1 及び 2 の課題について記述してください。
カ	受験承諾書	出願資格（3）に該当する場合のみ、提出してください。

キ	英語検定試験等の成績証明書等	入学試験日から原則2年以内に実施された英語検定試験等 (TOEIC [®] 公開テスト, TOEIC [®] -IP(カレッジ TOEIC [®] 含む), TOEFL [®] -PBT, TOEFL [®] -iBT 等) のスコア証明書等の英語能力を証明する書類を提出すること (複数提出可)。英語検定等を実施する公的機関が発行する書類であること。
ク	住民票の写し又は住民票記載事項証明書	外国人の志願者で日本に在住している者
ケ	入学検定料 30,000 円 (出願期間内に支払うこと)	持参又は郵送により出願する志願者には、広島大学入学検定料振込依頼書(入金票)【 本学専用用紙 】を郵送します。入学志願票貼付用, 志願者保管用, 入学検定料振込依頼書(入金票)の太ワクの中に, 志願者氏名及び志願者住所を必ず記入して, 指定の期日までに, 都市銀行, 地方銀行等の本支店の窓口で振り込んでください。(ATMからは振り込めないため, 注意してください。) なお, 振込手数料は振込人の負担となります。
コ	入学検定料振込証明書	ケの振込後, 受付金融機関出納印のある(入学志願票貼付用)「入学検定料振込証明書」を, アの「入学検定料振込証明書貼付票」に貼付して提出してください。

所定の様式は、下記ウェブサイトからダウンロードできます。

(<http://phoenixprogramlp.hiroshima-u.ac.jp/nyushi/>)

(3) 出願書類等の提出

① 提出方法

出願期間中に、原則として持参又は郵送(簡易書留郵便など、配達記録が残る方法に限る。)で提出してください。郵送による場合は、封筒表面に「プログラム願書在中」と朱書してください。電子メールに添付して提出する場合は、後日証明書類の原本か、原本証明された写しを提出してください。

出願書類等が出願期間中に届かない場合、及び出願書類等に不備がある場合は、受理しません。

特に、郵送に時間がかかることが見込まれる、海外から出願される方は、郵便事情等を十分考慮して早めに送付してください。

② 提出先 (「7. 照会及び出願書類等の提出先」参照)

(4) その他

① 受付後の記載内容の変更は、認めません。

② 出願書類及び入学検定料は、返還しません*。

③ 出願書類等に記載された個人情報(氏名、生年月日、性別、その他の個人情報等)は、入学者選抜及び合格通知並びに入学手続を行うために利用します。合格者の入学後は、学生支援関係(奨学金申請、授業料免除申請等)業務を行う目的をもって本学が管理します。他の目的での利用及び本学の関係教職員以外への提供は行いません。但し、個人情報の適切な取扱いに関する契約を締結した上で、コンピュータ処理をするため、関連業務を外部の事

業者に委託することがあります。

- ④ 合格後あるいは入学後、提出書類に虚偽の記載や詐称があることが判明した場合、合格・入学を取り消します。
- ⑤ 卒業（修了）見込で出願して合格した者が、入学日までに卒業（修了）できなかった場合、入学を許可しません。

*入学検定料に係る注意事項

出願受付後はいかなる理由があっても、既納の入学検定料は返還しません。

ただし、次の（１）、（２）の場合は、既納の入学検定料から振込手数料を差し引いて返還しますので、「返還請求の理由」、「氏名」、「郵便番号」、「住所」、「連絡先電話番号」を明記した書面（様式は任意）に必ず「入学検定料振込証明書」添付の上、平成31(2019)年2月28日（木）までに下記送付先宛に郵送又はFAXしてください。

その後、本学から検定料返還のための「返還請求書」を郵送しますので、記入・捺印の上、下記送付先に郵送してください。

- (1) 出願書類を提出しなかった、又は受付されなかった場合
- (2) 検定料を誤って二重に振り込んだ場合

送付先：〒739-8511 東広島市鏡山一丁目3番2号
広島大学東広島地区運営支援部共通事務室出納担当
(電話) 082-424-7811 (FAX) 082-424-6962

4. 選抜の方法等

(1) 第1次選抜(書類審査)

志願者の出願書類に基づき、第1次選抜を行います。

この結果は、平成31(2019)年2月19日(火)に電子メールにより通知します。

(2) 第2次選抜(面接審査)

期間：平成31(2019)年3月21日(木・祝)

場所：広島大学 霞キャンパス (広島市)

第1次選抜(書類審査)に合格した者に、本学の指定する会場において、プログラム(学問分野、リーダーシップの素養、英語力等)に関する個別口頭試問及び出願時に提出された書類に基づいた個別口述試験を行います。

(3) 合否判定方法及び採点評価基準

① 入学者選抜の合否判定方法

下記の採点評価基準に従い、書類審査及び面接審査等の結果を踏まえ、総合的に判定します。

② 採点評価基準

書類審査及び面接審査、語学能力を考慮して総合的に選考します。なお、選抜試験は、志望の動機、志望分野への適性及び基礎学力を選考の評価基準とし、三段階評価を行います。

(4) 合格者の発表：平成 31(2019)年 4 月 30 日(火)午前 10 時(予定)

放射線災害復興を推進するフェニックスリーダー育成プログラムホームページ
(<http://phoenixprogramlp.hiroshima-u.ac.jp/>)に掲載し、合格者には電子メール及び郵送により通知します。なお、電話等による照会には、原則として応じません。

5. 修学上の経済支援について

本プログラム履修学生に対して、現在、次の(1)(2)の支援を行っています。詳しくは、本プログラムホームページ (<http://phoenixprogramlp.hiroshima-u.ac.jp/>) を参照してください。

(1) 成績優秀者に対する奨学金給付 (LP エクセレント奨学金)

(2) 成績優秀者に対する授業料不徴収

また、修学上必要となる経費について、本プログラムが定める範囲において支給します。

*上記(1)(2)の経済支援は、平成 30(2018)年 10 月 1 日現在のものであり、変更が生じる場合があります。

6. 入学に要する経費

(1) 入学料 282,000 円

(2) 授業料(年額) 535,800 円

① 既納の入学料は、いかなる理由があっても返還しません。

② 上記記載の金額は平成 30(2018)年 10 月現在のものです。入学時及び在学中に納付金の改定が行われた場合には、改定後の納付金を納入することになります。

7. 照会及び出願書類等の提出先 (出願等に際して不明な点があれば、下記へ照会してください)

広島大学フェニックスリーダー育成プログラム事務室 (霞キャンパス学生支援グループ内)

〒734-8553 広島市南区霞一丁目 2 番 3 号

Tel: 082-257-1995 E-mail: phoenix-program@office.hiroshima-u.ac.jp

電子メールでのお問い合わせの際には、件名に「[●● (あなたのお名前)] 出願について」と書いてお送りください。

放射線災害復興を推進するフェニックスリーダー育成プログラムホームページ (<http://phoenixprogramlp.hiroshima-u.ac.jp/>)

8. プログラム担当者一覧表

志願者は、必ず出願前に、主任指導を希望するプログラム担当者と、自らが希望する活動がプログラムに適しているか及び希望研究内容等について相談し、主任指導の了承を得てください。

※「主任指導の可否」欄が「×」となっている担当者は、特任教員又は他大学・他機関等の所属であるため主任指導できない者を示しています。また、次の一覧表は平成 30(2018)年 10 月 1 日現在のものであり、変更が生じる場合もあります。

	氏名	主任指導の可否	専門	所属, 担当研究科・専攻・職名
放射線災害医療コース	神谷 研二 (プログラム責任者)	×	放射線障害医学、放射線生物学	副学長(復興支援・被ばく医療担当) 兼 医療政策室・特任教授
	小林 正夫 (プログラム コーディネーター)	×	小児科学	医歯薬保健学研究科・医歯薬学専攻・教授
	田代 聡 (コースリーダー)	○	生化学、分子生物学	原爆放射線医科学研究所・放射線障害機構研究部門・教授 兼 医歯薬保健学研究科・医歯薬学専攻・教授
	松浦 伸也	○	遺伝医学、放射線生物学	原爆放射線医科学研究所・ゲノム障害医学研究センター・教授 兼 医歯薬保健学研究科・医歯薬学専攻・教授
	稲葉 俊哉	○	血液学、分子生物学	原爆放射線医科学研究所・ゲノム障害医学研究センター・教授 兼 医歯薬保健学研究科・医歯薬学専攻・教授
	東 幸仁	○	循環器内科	原爆放射線医科学研究所・ゲノム障害医学研究センター・教授 兼 医歯薬保健学研究科・医歯薬学専攻・教授
	廣橋 伸之	○	救急医学	原爆放射線医科学研究所・放射線災害医療研究センター・教授 兼 医歯薬保健学研究科・医歯薬学専攻・教授
	保田 浩志	○	放射線防護、線量評価	原爆放射線医科学研究所・放射線影響評価研究部門・教授 兼 医歯薬保健学研究科・医歯薬学専攻・教授
	瀧原 義宏	×	血液学、幹細胞生物学	原爆放射線医科学研究所・客員教授
	岡本 哲治	○	口腔外科学、口腔科学	医歯薬保健学研究科・医歯薬学専攻・教授
	永田 靖	○	放射線腫瘍学	医歯薬保健学研究科・医歯薬学専攻・教授
	粟井 和夫	○	放射線科学	医歯薬保健学研究科・医歯薬学専攻・教授
	菅井 基行	×	細菌学	医歯薬保健学研究科・医歯薬学専攻・客員教授 国立感染症研究所・薬剤耐性研究センター・センター長
	安井 弥	○	人体病理学	医歯薬保健学研究科・医歯薬学専攻・教授
	田中 純子	○	衛生学、公衆衛生学、健康科学	医歯薬保健学研究科・医歯薬学専攻・教授
	茶山 一彰	○	消化器病学、肝臓病学	医歯薬保健学研究科・医歯薬学専攻・教授
	宿南 知佐	○	口腔生化学	医歯薬保健学研究科・医歯薬学専攻・教授
	志馬 伸朗	○	救急集中治療医学	医歯薬保健学研究科・医歯薬学専攻・教授
	細井 義夫	×	放射線科学	東北大学医学系研究科・医科学専攻・教授
	島田 義也	×	放射線発がん	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構・理事
	小笹 晃太郎	×	疫学	公益財団法人放射線影響研究所・広島疫学部長
	安村 誠司	×	公衆衛生学・疫学、公衆衛生学	福島県立医科大学・理事兼副学長 兼 医学部・公衆衛生学講座・教授
	坂井 晃	×	血液、腫瘍学、放射線生物学	福島県立医科大学・医学部・放射線生命科学講座・教授
	大津留 晶	×	放射線健康管理学	福島県立医科大学・医学部・放射線健康管理学講座・教授
谷川 攻一	×	救急災害医療、心肺蘇生法	福島県立医科大学・副理事長 兼 ふくしま国際医療科学センター長	
高村 昇	×	国際保健学	長崎大学・原爆後障害医療研究所・国際保健医療福祉学研究分野・教授	